



2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月9日
東

上場会社名 株式会社エプコ 上場取引所
 コード番号 2311 URL <http://www.epco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役グループCEO (氏名) 岩崎 辰之
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役CFO (氏名) 吉原 信一郎 (TEL) 03-6853-9165
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	3,154	3.6	295	△31.0	330	△22.1	213	△23.9
2019年12月期第3四半期	3,046	8.9	427	5.9	424	35.0	280	53.4

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 197百万円(△17.0%) 2019年12月期第3四半期 238百万円(43.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	23.98	—
2019年12月期第3四半期	31.52	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	3,562	3,098	87.0
2019年12月期	3,619	3,168	87.5

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 3,098百万円 2019年12月期 3,168百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	12.50	—	17.50	30.00
2020年12月期	—	12.50	—		
2020年12月期(予想)				15.00	27.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,337	4.5	377	△32.7	452	△24.3	457	6.8	51.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (社名) 株式会社ENE's

(注)詳細は、添付資料P.6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) をご覧ください。なお、2020年8月1日付でシステムハウスエンジニアリング株式会社から株式会社ENE'sへ社名を変更しております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年12月期3Q	9,316,000株	2019年12月期	9,316,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	404,074株	2019年12月期	404,045株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年12月期3Q	8,911,945株	2019年12月期3Q	8,912,013株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8
3. 補足情報	9
(1) 販売の状況(連結)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年9月30日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発出後、社会・経済活動が急速に停滞し厳しい状況となりました。また、当該感染症については欧米諸国にて感染が再拡大する動きを見せており、日本においても収束の見通しが立ったとはいえ、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが主に関連する住宅産業におきましては、新型コロナウイルス感染防止を目的とした事業活動の自粛については少しずつ緩和されてきたものの、当第3四半期連結累計期間(2020年1月～9月)の住宅着工戸数は前年同期比で10.9%の減少(持家12.4%の減少、貸家10.4%の減少)を示しており、予断を許さない状況であると認識しております。

このような事業環境の中、当社グループは、新型コロナウイルス感染防止対策による影響を最小限にとどめるべく、各事業にてBCP(事業継続計画)を速やかに実行するとともに、今後に向けた取り組みとしては、BIM(building information modeling)を活用した新しい事業モデルの創造に注力しつつ、2020年3月にはシステムハウスエンジニアリング株式会社(現・株式会社ENE's)の株式を取得し、100%子会社化することで、E-Saving事業のさらなる拡大に向けた足場固めを進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,154百万円(前年同四半期比3.6%増)、営業利益295百万円(前年同四半期比31.0%減)、経常利益330百万円(前年同四半期比22.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益213百万円(前年同四半期比23.9%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

第1四半期連結会計期間より株式会社ENE's(旧・システムハウスエンジニアリング株式会社)を連結子会社としたことに伴い、第2四半期連結会計期間より報告セグメント「E-Saving事業」を追加しております。

なお、2020年8月1日付でシステムハウスエンジニアリング株式会社から株式会社ENE'sへ社名を変更しております。

また、第2四半期連結会計期間より、当社グループが行う事業をより適切に表現するため、「設計サービス事業」、「メンテナンスサービス事業」のセグメント名称を、「D-TECH事業」、「H-M事業」に変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報の集計数値に与える影響はありません。

なお、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

① D-TECH事業(旧・設計サービス事業)

前述のとおり当第3四半期における新設住宅着工戸数が減少したことにより、当社の設計受託戸数も減少した結果、売上高は1,671百万円(前年同四半期比12.7%減)となりました。これに対して、昨年まで取り組んできた中国設計拠点(深セン・吉林)の移管及びITを活用した業務改善活動の効果により、既存業務における設計費用は1,234百万円(前年同四半期比11.4%減)に減少しております。これらの活動に加えて、中長期に向けた取り組みとしてBIMを活用した新事業モデルへの投資(主に人件費)に伴い102百万円の営業費用が発生した結果、営業利益は333百万円(前年同四半期比33.1%減)となりました。

② H-M事業(旧・メンテナンスサービス事業)

既存得意先における預かり顧客数及び受電件数が堅調に増加したことによりインバウンドサービスの売上が増加した結果、売上高は902百万円(前年同四半期比2.4%増)となりました。一方、業務効率化による一人当たり生産性の向上及び業容拡大により売上に対する固定費率が低下したことから、営業利益は236百万円(前年同四半期比15.2%増)となりました。

③ E-Saving事業(新設)

太陽光発電システム施工、オール電化住宅設備施工、クリーンエネルギー設備施工を主な事業内容とする株式会社ENE's(旧・システムハウスエンジニアリング株式会社)を連結子会社としたことに伴い、第2四半期より報告セグメント「E-Saving事業」を追加しております。

本セグメントの売上高は312百万円、営業損失は2百万円となりました。

④ システム開発事業

継続収入である顧客管理システム利用サービスの提供による売上が堅調に推移し、またこれに付随する受託開発売上が増加した結果、売上高は268百万円(前年同四半期比7.2%増)、営業損失は14百万円(前年同四半期は営業損失37百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて15.0%減少し、1,941百万円となりました。これは、主として現金及び預金が410百万円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて21.4%増加し、1,621百万円となりました。これは、主として株式会社ENE's(旧システムハウスエンジニアリング株式会社)を連結子会社化したことにより有形固定資産が242百万円増加したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、1.6%減少し、3,562百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3.9%減少し、421百万円となりました。これは主として買掛金が38百万円増加した一方で、未払法人税等が55百万円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて238.9%増加し、42百万円となりました。これは主として株式会社ENE'sを連結子会社化したことにより退職給付に係る負債が30百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末と比べて2.8%増加し、463百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.2%減少し、3,098百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益213百万円を計上した一方で、配当金の支払267百万円及び為替換算調整勘定が16百万円減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月7日付の「業績予想の修正及び特別利益の発生に関するお知らせ」により公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,497,694	1,086,875
受取手形及び売掛金	635,627	628,225
仕掛品	63,605	128,768
その他	88,192	98,684
貸倒引当金	△1,289	△1,326
流動資産合計	2,283,830	1,941,227
固定資産		
有形固定資産	349,195	591,871
無形固定資産	252,904	268,442
投資その他の資産		
関係会社株式	317,055	326,828
関係会社出資金	163,120	180,898
繰延税金資産	36,429	32,489
その他	216,763	220,582
投資その他の資産合計	733,368	760,799
固定資産合計	1,335,468	1,621,113
資産合計	3,619,299	3,562,340
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,727	45,668
未払法人税等	82,287	27,029
賞与引当金	21,018	56,186
株主優待引当金	35,464	7,065
その他	292,711	285,207
流動負債合計	438,209	421,157
固定負債		
退職給付に係る負債	—	30,654
長期未払金	11,360	11,360
その他	1,111	248
固定負債合計	12,471	42,262
負債合計	450,680	463,420
純資産の部		
株主資本		
資本金	87,232	87,232
資本剰余金	118,032	118,032
利益剰余金	3,018,243	2,964,618
自己株式	△202,855	△202,894
株主資本合計	3,020,652	2,966,988
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	147,965	131,931
その他の包括利益累計額合計	147,965	131,931
純資産合計	3,168,618	3,098,920
負債純資産合計	3,619,299	3,562,340

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高	3,046,169	3,154,903
売上原価	1,782,346	2,091,257
売上総利益	1,263,822	1,063,645
販売費及び一般管理費	835,900	768,463
営業利益	427,922	295,182
営業外収益		
受取利息	1,402	680
持分法による投資利益	—	28,621
受取手数料	1,446	—
その他	1,356	11,410
営業外収益合計	4,205	40,712
営業外費用		
持分法による投資損失	5,489	—
為替差損	1,864	5,114
その他	255	34
営業外費用合計	7,609	5,149
経常利益	424,518	330,745
特別利益		
新株予約権戻入益	1,106	—
特別利益合計	1,106	—
特別損失		
固定資産除売却損	21,725	1,236
特別損失合計	21,725	1,236
税金等調整前四半期純利益	403,899	329,509
法人税、住民税及び事業税	102,933	95,802
法人税等調整額	20,044	19,972
法人税等合計	122,977	115,775
四半期純利益	280,921	213,733
親会社株主に帰属する四半期純利益	280,921	213,733

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
四半期純利益	280,921	213,733
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	1,147	—
為替換算調整勘定	△36,237	△17,634
持分法適用会社に対する持分相当額	△7,498	1,600
その他の包括利益合計	△42,587	△16,034
四半期包括利益	238,334	197,699
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	238,334	197,699
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
連結の範囲の重要な変更 第1四半期連結会計期間において、システムハウスエンジニアリング株式会社(現・株式会社ENE's)の全株式を取得したため、同社を連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	D-TECH	H-M	E-Saving	システム開発	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,914,640	880,749	—	250,778	3,046,169	—	3,046,169
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,914,640	880,749	—	250,778	3,046,169	—	3,046,169
セグメント利益又は損失(△)	498,504	205,083	—	△37,096	666,491	△238,569	427,922

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△238,569千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	D-TECH	H-M	E-Saving	システム開発	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,671,026	902,175	312,857	268,843	3,154,903	—	3,154,903
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,671,026	902,175	312,857	268,843	3,154,903	—	3,154,903
セグメント利益又は損失(△)	333,311	236,198	△2,973	△14,875	551,660	△256,478	295,182

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△256,478千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より株式会社ENE's(旧・システムハウスエンジニアリング株式会社)を連結子会社としたことに伴い、第2四半期連結会計期間より報告セグメント「E-Saving事業」を追加しております。

なお、2020年8月1日付でシステムハウスエンジニアリング株式会社から株式会社ENE'sへ社名を変更しております。

また、第2四半期連結会計期間より、当社グループが行う事業をより適切に表現するため、「設計サービス事業」、「メンテナンスサービス事業」のセグメント名称を、「D-TECH事業」、「H-M事業」に変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報の集計数値に与える影響はありません。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントに基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

重要な事業譲渡

当社は、2020年9月7日開催の取締役会において、システム開発事業におけるENESAP事業のSBパワー株式会社への譲渡に関して、同社と事業譲渡契約を締結することを決議し、同日、事業譲渡契約を締結いたしました。当該事業譲渡契約に基づき、2020年10月1日に事業譲渡を完了いたしました。

1. 事業譲渡の理由

当社は、電力小売りの自由化に伴い家庭向け電力小売市場に参入された小売電気事業者様向けに、業務効率向上を支援するクラウド型の顧客・需給管理システムである「ENESAP」サービスを提供しております。

一方、当社グループは、今後の経営戦略として、住宅のライフサイクル全般（設計・メンテナンス・リフォーム）に対して総合的にサービス提供する事業に経営資源を集中する方針であり、事業領域及び対象顧客が異なるENESAP事業を譲渡することが当社グループの企業価値向上に資すると判断いたしました。また、事業譲渡先については、既存顧客に対して現行サービスを継続して提供する能力及び関連サービスの提案力を考慮した結果、小売電気事業者向けに対する各種サービスを積極的に展開し、豊富な実績を有するSBパワー株式会社を事業譲渡先として選定しております。

2. 譲渡する相手会社の名称

SBパワー株式会社

3. 譲渡する事業の内容

① 譲渡する事業の内容

家庭向け電力小売市場に参入している小売電気事業者に対する業務効率向上を支援するクラウド型の顧客・需給管理システムの提供

② 譲渡する事業の直近の経営成績(2019年12月期)

売上高 : 236百万円

営業利益 : 4百万円

4. 譲渡する資産・負債の額

固定資産 : 97百万円

5. 譲渡の時期

2020年10月1日

6. 譲渡価額

320百万円(税抜)

3. 補足情報

(1) 販売の状況(連結)

(単位:千円)

セグメントの名称		前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	
		金額	構成比	金額	構成比
D-TECH	設備設計(給排水・電気)	1,470,863	48.3%	1,274,253	40.4%
	建築設計	346,776	11.4%	302,579	9.6%
	エネルギー設計	97,000	3.2%	94,193	3.0%
	小計	1,914,640	62.9%	1,671,026	53.0%
H-M		880,749	28.9%	902,175	28.6%
E-Saving		—	—	312,857	9.9%
システム開発		250,778	8.2%	268,843	8.5%
合計		3,046,169	100.0%	3,154,903	100.0%